としょかんだより　2026年8月発行　No.57

ほんとも　こどもばん

夏がやってきました！

外で元気に遊ぶのも楽しいけれど、ちょっと涼しい場所でゆっくり本を読むのもすてきです。

としょかんには、夏にぴったりの本やおもしろいお話がたくさんそろっています。

としょかんおすすめの本

『もののけ diary（だいありー）』

京極夏彦／文　石黒亞矢子／絵　岩崎書店　2024

妖怪たちが毎日やってきて、少年をこわがらせようとするけれど、少年はぜんぜんこわがらない。そのせいで妖怪たちがあわてたりへんてこなことが起きたりする、ふしぎでおもしろい30日間のお話。



ほんかんにあります

むかしむかし、江戸時代につくられた「稲生物怪録（いのうもののけろく）」という妖怪の物語が原作。

絵本の中の妖怪たちは、こわいけれどどこかユーモラスで見ているだけでワクワクするよ～。

としょかんのあたらしいほん

ようじにおすすめ



『パンダのおさじとぱんだっこちゃん』
柴田（しばた） ケイコ／作（さく） ポプラ社（しゃ）



『おばけのやだもん』
ひらの ゆきこ／さく・え 教育画劇

こうがくねんにおすすめ



『空想科学アカデミア 1』
柳田 理科雄／著 ポプラ社



『ヘンゼルとグレーテル 』[グリム／原作]
スティーヴン・キング／文 モーリス・センダック／絵 穂村 弘／訳 NHK 出版

ていがくねんにおすすめ

『なきむしなきこちゃん 』
ザ・キャビンカンパニー／作 福音館書店





『5回で折れるゆめがいっぱい！ おりがみ 1』 いしかわ まりこ／作
汐文社

8月15日は「終戦記念日」

1945年日本はポツダム宣言を受け入れ、第二次世界大戦が終わり、天皇の放送によって国民に伝えられました。

『字のないはがき』

向田邦子／原作　角田光代／文　西加奈子／絵　小学館　2019

戦争がはげしくなって小さないもうとも、そかいに行くことになりました。お父さんは、数えきれないほどのハガキをよういして、そのあてなにじぶんの住所と名前をかきます。まだ字のかけないいもうとが元気なら○をかいてポストに入れるのです。○の大きさは、だんだん小さくなって、とうとう×のハガキがとどいたのです。



ほんかんにあります

2026年の十五夜は9月25日

秋のよるにきれいに見えるお月さまを楽しむ日。

9月～10月のあいだで月がきれいに見える日だよ。

『おやすみなさい　おつきさま』

マーガレット・ワイズ・ブラウン／さく　クレメント・ハード／え　せたていじ／やく

評論社　2005



ほんかんにあります

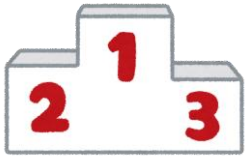
みどりいろのおへやに、うさぎのぼうやがいるよ。ぼうやはねるまえに、おへやのみんなにおやすみのごあいさつをします。あかりさん、ふうせんさん、とけいさん、ねずみさん…。

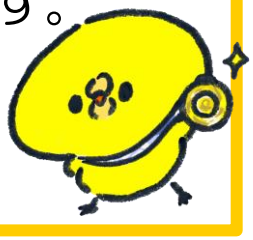
だんだんおへやがしずかになってきて、ぼうやもねむたくなりました。

学校ではおそわらない

かぞえかたのひみつ

位(い)：努力して手にした立場をあらわす。





座(ざ)：星座や山など大きくてロマンをかきたてるものをかぞえる。





冊(さつ)：綴じた紙の書物をかぞえる。本を閉じて上から見ると「冊」の字に見える。



膳(ぜん)：食事のありがたみを伝えるかぞえ方。お箸は二本で一膳とかぞえる。茶碗にもったごはんも一膳。

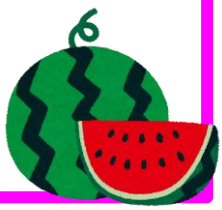




玉(たま)：美しく、みずみずしいようすをあらわす。貴重で高価なくだものや球状の野菜、糸や麺など細長いものが寄り集まったものもかぞえる。







※このコーナーは『国語の授業では教わらない数え方辞典』飯田朝子／著　幻冬舎を参考に作りました。(ぶんしつにあります)





発行：市立名寄図書館
名寄市大通南２丁目　TEL2-4751
（＝旧 Twitter）
@nayoro_library